

学びの広場 2017

「問い合わせ」教育課 生涯学習係 ☎ (83) 7021

5/31(水) はチャレンジデー

町民の皆さんが、体操をしたり、ウォーキングをしたり、運動する姿を、さまざまな場面で見かけます。

自分の健康は自分で守る、管理するなど、健康寿命を延ばす努力は不可欠です。

人口規模に近い自治体同士で、運動の参加率を競い合う「チャレンジデー」は、

○参加を通して、生涯にわたる健康・体力づくりを推進するための機会とする。

○町民相互の交流と親睦を深

金メダルめざしてがんばるぞ!



おめでとう!

「寺子屋まつだ」数学・算数検定に全員合格!

3月4日、寺子屋まつだで(公財)日本数学検定協会が主催する「数学検定・算数検定」にチャレンジし、受検者13人全員が見事に合格しました。今年度は英語検定にも挑戦します。



「英語力」の向上、英語教育の充実を目指し、外国人指導者を増員しました

グローバル社会を迎える昨今、益々世界各国の文化を理解することや言語力が要求されます。また、平成32年度(2020年度)には、小学校5・6年生に対し、英語の教科化が予定されています。このため、教育委員会では、本年度から学校教育現場に外国人教師を1人増員し、2人で指導しています。

また、寺子屋まつだでは、英会話講座を開講しており、世界の国に対応する子どもたちの育成を目指しています。なお、英語検定試験にもチャレンジします。詳しくは生涯学習係へお問い合わせください。

※英会話講座は、今年は参加希望が多く既に定員になりました

(名) (ミドルネーム) (姓)
Name: Scott James Moltby
Nationality: Australian
Age: 46
Hobbies: WatchingSports, Fishing, Golf, Driving



モルトビーと呼んでください!

名前: スコット・ジェームス・モルトビー
出身国: オーストラリア
年齢: 46歳
好きなこと: スポーツ観戦、釣り、ゴルフドライブ

(名) (ミドルネーム) (姓)
Name: Thijs Tom Anthony DeBuck
Nationality: Belgian
Age: 27
Hobbies: Swimming, Karaoke, Gaming, Visiting Springs



テイスと呼んでください!

名前: テイス・トム・アントニー・デブック
出身国: ベルギー (オランダ生まれ)
年齢: 27歳
好きなこと: 泳ぐこと、カラオケ、ゲーム温泉

生涯学習講座 「広報紙」の作り方を学びませんか



昨年の様子

5月17日(水)午前9時30分~11時30分
役場1B会議室 ※第2回は9月13日(水)

- 内容 / ・広報紙の作成ポイント
- ・作成した広報紙の利点及びアドバイス
- ・受賞した広報紙を見合う

●広報紙など作成されている方、是非ご参加ください。

【申し込み】

教育課 生涯学習係 ☎(83)7021

古文書調査ってどんなことをするの?

昨年10月から、神奈川県立公文書館により、町内のご家庭が所有する古文書の保管調査が行われています。これらの保管調査の成果や、長年公文書館が携わってきた、古文書調査の取り組みについて、公文書館職員の上田さんにお話していただきます。どうぞご参加ください。

日時: 5月13日(土) 午前10時~11時30分

会場: 町民文化センター 3階 大会議室

テーマ: 「古文書調査と調査から見えるもの」

講師: 上田 良知さん(神奈川県立公文書館職員)

松田文化財探訪

矢倉沢往還 16

文化財保護委員 草門 隆

「青山街道本道争い」事件の検証(その三)

十文字渡し場の先は、開成町の吉田島、下島、牛島、宮台から南足柄市の矢倉沢(元関所)への道筋です。

この吉田島の大長寺前の小田急沿線沿いの道は、『馬道』(小田原道)と称され、松田の庶子からの道でもあり、この矢倉沢往還の人馬に混じり小田原まで年貢米等を背負った多くの馬が行きかかってきたそうです。(開成町文化財保護委員・久保田氏談)



「十文字渡しの沢尻の土手」

この道筋は、酒匂川右岸の松並木沿い、約一キロメートルのほぼ直線の道で、往時は全くの田んぼ道であったと言いますから、その光景はたいへん趣があったのではないでしょう。

また、真珠王の御木本幸吉が、明治42年6月松田駅前の「旅館・笠屋」に宿泊し、二宮金次郎の生誕地を訪れるため十文字橋を渡り、この道を

使用したことでしょう。

次に元文時代(1736~40)の頃の渡し場は、三角土手先端辺りから川原を斜めに渡り上吉田島に向かっているのは、享保19(1734)年の酒匂川の未曾有の氾濫による大きな被害の影響と蓑笠之助の代官所の存在も作用していると言われます。

後年、幕末から明治にかけての当町の様子は、「青山街道本道争い」が起るほど大きく変化したことから、公道とも言ふべき「神山・町屋コース」とは全く異なる道筋が登場したということです。

それは、「迅速測図」に描かれた十文字渡し場は小田急鉄橋の約30m下流(写真)辺りになり、松田本村寄りになっていきます。この渡し場付近を台風等により大水が出た際に、その流路や水面をみると、十文字橋の上流とは異なり、ゆったり安定していることから水量の少ない時は、安心して渡れたものと推察できます。

しかし、この渡し場の変更は、何らかの人為的意図も否定できません。十文字渡し場の4か所の現状は、遺構とは程遠いものの、その様な想いで確認すれば充分その形跡は何えます。次回、この項の総括です。